

第 16 回せんがわ劇場演劇コンクール レギュレーション

2026 年 2 月 22 日

【1】 第 16 回せんがわ劇場演劇コンクール概要

1 実施目的

調布市せんがわ劇場は、平成 20 年（2008）年に開館した調布市の公立劇場です。本コンクールは、せんがわ劇場のミッション「次世代を担う実演家の育成」の達成のために実施しています。コンセプトは「出会い」です。批評の言葉、観客、アーティスト同士など、さまざまな出会いを提供し、従来のコンクール以上のコミュニケーションを目指しています。

本コンクールではとりわけ、批評の言葉を大切にしています。全専門審査員がコンクール出場団体へ直接講評し、その後講評をもとにしたディスカッションを、一般審査員を交えて行います。専門審査員の講評は後日、劇場ホームページに掲載します。

本コンクールは、単に優劣を競うだけではなく、せんがわ劇場における舞台芸術活動者の育成支援の出発点と位置づけています。

2 事業内容

【名 称】 第 16 回せんがわ劇場演劇コンクール

【日 程】 令和 8 年（2026 年）

5 月 23 日（土）本選 1 日目 3 団体上演

5 月 24 日（日）本選 2 日目 2 団体上演、表彰式、アフターディスカッション

【会 場】 調布市せんがわ劇場

【主 催】 公益財団法人 調布市文化・コミュニティ振興財団

【入場料】 有料（P12 を参照）

【コンクール出場団体】 ※五十音順

（1）劇団 fireworks

（2）世人／dasman

（3）人間の条件

（4）東のボルゾイ

（5）やしゃご

* 継続的に舞台芸術活動をしている団体（過去 3 回以上の上演を 5 年以内に行っていること）を募集。書類・映像による一次審査・二次審査を経て 5 団体を選出する。コンクールでは各団体が 1 公演ずつ行い、専門審査員、一般審査員、全公演を鑑賞した観客が審査を行う。

◆上演補助金

コンクール出場 5 団体へそれぞれ 5 万円を支給する。

（観客によるチケット代およびコンクールへの支援金から支出）

3 賞

【グランプリ】 専門審査員の審議により 1 団体を決定します。

- ・表彰状の授与
- ・2027 年 5 月 31 日(月)～6 月 6 日(日)の 1 週間劇場ホール使用权（付帯設備込）を贈呈
- ・受賞コメントを劇場ホームページに掲載
- ・受賞公演の広報
- ・チケット販売を支援

【オーディエンス賞】 一般審査員と、全公演を鑑賞した観客の投票により 1 団体を決定します。

- ・表彰状の授与
- ・2027 年 5 月 28 日(金)～5 月 30 日(日)の 3 日間劇場ホール使用权（付帯設備費込）を贈呈
- ・受賞コメントを劇場ホームページに掲載
- ・受賞公演の広報・チケット販売を支援

【個人賞（劇作家賞・演出家賞・俳優賞）】 専門審査員の審議により 1 名ずつ決定します。

- ・表彰状の授与
- ・受賞コメントを劇場ホームページに掲載

※グランプリ・オーディエンス賞・個人賞は「該当なし」の場合あり

コンクール後の活躍の場

せんがわ劇場の演劇事業への参加

多くのコンクール出場者が、DEL（※）に加入し、せんがわ劇場の事業に参加しています。

※DEL(デル)とは

せんがわ劇場の公演やワークショップ、演劇アウトリーチに携わるアーティストのグループです。

せんがわ劇場が独自に始めたシステムで、せんがわ劇場演劇コンクールの出場者を中心にメンバーを構成しています。

4 審査員

【専門審査員】 ※五十音順 敬称略

笠木 泉 かさぎ いずみ（劇作家・演出家・俳優）

大学在学中に俳優として宮沢章夫主宰の遊園地再生事業団に参加。以後、ミクニヤナイハラプロジェクト、劇団はえぎわ、岡田利規作品、シティボーイズミックスなど、様々な舞台作品に多数出演。2018年、自らが戯曲を書き演出するフィールドとしてソロ演劇ユニット「スヌーヌー」をスタートさせ、以降は劇作家、演出家としての活動を続けている。2021年、戯曲「モスクワの海」で第66回岸田國土戯曲賞最終候補に選出。2024年、戯曲「海まで100年」で第69回岸田國土戯曲賞を受賞。

佐藤 滋 さとう しげる（俳優）

1974年新潟生まれ。文学座附属演劇研究所卒業後、劇団 KAKUTA に11年在籍。退団後、こまばアゴラ演劇学校無隣館第一期を経て、現在は青年団に所属。2023年、自身の企画である「滋企画」を立ち上げる。第一回公演『K2』（2023年）、第二回公演『オセロー』（2024年）、第三回公演『ガラスの動物園』（2025年）を上演。2026年3月に、第4回滋企画(作・演出・音楽：糸井幸之介)を上演予定。

ひびの こづえ（コスチューム・アーティスト）

東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。紀伊國屋演劇賞個人賞受賞。コスチューム・アーティストとして広告、演劇、ダンス、バレエ、映画、テレビなどその発表の場は、多岐にわたる。NHK Eテレ「にほんごであそぼ」のセット衣装を担当。歌舞伎「野田版 研ぎ辰の討たれ」；現代劇の野田秀樹作・演出の「フェイクスピア」、「正三角関係」；オペラ「さまよえるオランダ人」新国立劇場；森山開次演出「星の王子さま-サン＝テグジュペリからの手紙-」KAATなどの衣装を担当。ダンスパフォーマンスを衣装の発想から「WONDER WATER」「Rinne」「MAMMOTH」「ROOT：根」「二人のアリス」「アリとキリギリスと」を企画展開中。

【せんがわ劇場演劇コンクール企画監修／専門審査員】

徳永 京子 とくなが きょうこ（演劇ジャーナリスト）

演劇ジャーナリスト。せんがわ劇場外部演劇アドバイザー。東京芸術劇場企画運営委員。読売演劇大賞選考委員。日本舞台芸術ネットワーク理事。朝日新聞首都圏版に劇評執筆。ステージナタリーにコラム『眼鏡とコンパス』連載中。ローソンチケットウェブメディア『演劇最強論-ing』企画・監修・執筆。著書に『「演劇の街」をつくった男一本多一夫と下北沢』、『我らに光を一蜷川幸雄と高齢者俳優41人の挑戦』、『演劇最強論』（藤原ちから氏と共著）。

【せんがわ劇場芸術監督／専門審査員】

小笠原 響 おがさわら きょう（演出家）

フリーの舞台演出家として様々な劇団公演やプロデュース公演で横断的に演出活動を展開。2018年、読売演劇大賞優秀演出家賞受賞。その後日本芸術文化振興会の演劇分野プログラムオフィサーを務めた経験から、近年は劇場を拠点とした演劇事業にも関わり、地域の演劇振興に貢献。2024年、再度読売演劇大賞優秀演出家賞受賞。近年の主な演出作品は『慈善家－フィランスロピスト』・『屠殺人ブッチャー』・『ベルリンの東』（名取事務所）、『善人たち』（劇団民藝）、『正義の人びと』（劇団俳優座）、『The Weir－堰－』（劇団昴）、『聖なる炎』（俳優座劇場プロデュース）、『ジン・ゲーム』（加藤健一事務所）、『拝啓、衆議院議長様』（Pカンパニー）、千葉市民創作ミュージカル『千年天女』ほか。

【一般審査員】

広く一般からの応募者。調布市民・初参加者を優先（定員 15 名）

【一次審査員】※五十音順 敬称略

- ・大原渉平（演出家／劇作家／劇団しろうよ代表・第 6 回出場）
- ・尾崎太郎（劇作家／演出家／さんらん主宰・第 13 回出場）
- ・久野那美（劇作家／演出家／〇〇の階代表・第 12 回出場）
- ・公社流体力学 a.k.a.太田日曜（パフォーマー／演出家／劇作家／公社流体力学主宰・第 10 回出場）
- ・小林真梨恵（振付家／演出家／ダンサー／waqu:iraz 代表・第 8 回出場）
- ・坂本奈央（劇作家／演出家／終のすみか主宰・第 13 回出場）
- ・星善之（演出家／パフォーマー／ほしぶろ主宰・第 12 回出場）
- ・宮崎玲奈（劇作家／演出家／ムニ主宰・第 11 回出場）

5 スタッフ

■舞台

【総合舞台監督】廣瀬正仁

【照明監修】関 定己

【舞台監督助手】星 善之

【劇場舞台技術スタッフ】東京舞台照明

■制作

【主催】公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団

【せんがわ劇場芸術監督】小笠原 響

【せんがわ劇場外部アドバイザー】徳永京子

【せんがわ劇場演劇ディレクター】佐川大輔、栞原秀一、柏木俊彦、櫻井拓見

【演劇コンクール運営実行委員】深堀絵梨

【団体担当】一宮周平、大原渉平、河井 朗、小林真梨恵、坂本奈央

【制作助手】タカミナオミ、平松香帆

【2】 スケジュール

2月22日（日）13:00～17:00 会場：調布市せんがわ劇場ホール	参加団体説明会 ≪参加必須≫1名以上 上演順を決定するため、責任者は参加すること。
4月7日（火）	チケット発売：5 団体通しチケット (ちょうふアートプラス会員、応援チケット2種)
4月10日（金）	チケット発売：5 団体通しチケット(一般)
4月28日（火）	チケット発売：1 団体個別チケット
5月6日（水）※必着	舞台資料・制作資料の提出締切日 メール件名:【演劇コンクール団体資料】団体名 ・⑫舞台打ち合わせ用データシート ・⑬テクリハタイムテーブル ・⑭制作確認シート ・舞台・音響・照明仕込み図 (⑤、⑦、⑩を使用するか、代替の図面) ・上演台本 ・通し稽古の動画（作品全体がわかるものを YouTube にして送付）
5月12日（火）13:00～ 会場：調布市せんがわ劇場ホール	■最終打ち合わせ（各団体 30 分） 【13:00～13:30】●● 【13:40～14:10】●● 【14:20～14:50】●● 【15:00～15:30】●● 【15:40～16:10】●● ≪参加必須≫代表者、舞台監督 ≪参加推奨≫照明、音響 ※照明、音響等が不参加の場合は、代表及び舞台監督の方が各セクションのプランを確実に把握していること ■DEL 説明会 会場：せんがわ劇場 2 階 MT スペース またはオンライン 【15:00～16:00 の部】●●、●●、●● 【16:20～17:20 の部】●●、●●

↓各オンライン（ZOOM）参加の QR コード

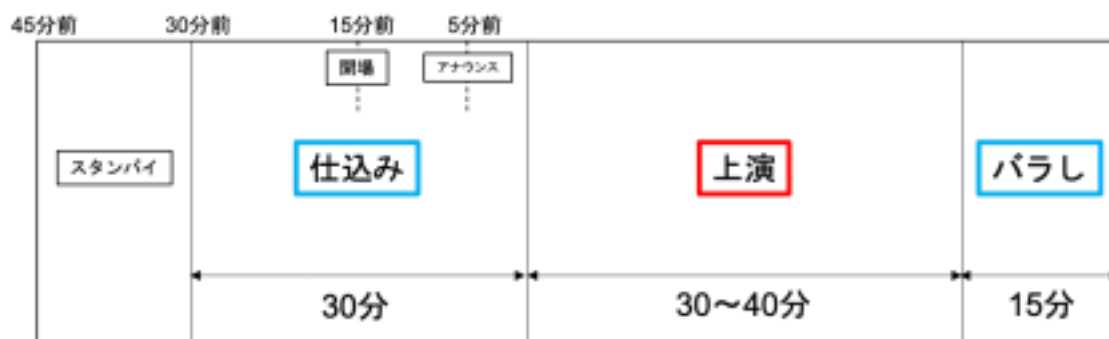
ZOOM URL 最終打合せ 	ZOOM URL DEL 説明会第 1 部 	ZOOM URL DEL 説明会第 2 部 
5 月 20 日（水）、21 日（木） いずれか 1 日	■テクニカルリハーサル 時間：各団体 3 時間 15 分 ・通し必須（客入れ状態から終演までのチェック） ・最後の 15 分で劇場サイドとの最終確認調整（フィードバック）を行う	
5 月 22 日（金）終日	■ゲネプロ ・実際の制限時間通りに行う ・財団職員、コンクールスタッフ、コンクール出場団体、DEL メンバーに公開 ・劇場の記録用スチール撮影あり	
5 月 23 日（土）終日	■本選 1 日目 3 団体の上演 13:30～ ●● 15:00～ ●● 16:30～ ●●	
5 月 24 日（日）終日	■本選 2 日目 2 団体の上演 11:30～ ●● 13:00～ ●● ■表彰式、審査員講評 YouTube にてライブ配信 ■アフターディスカッション ※表彰式、アフターディスカッションには代表者含む 1 名以上参加必須	

【3】 ルール ※ルールが守られなかった場合、審査の対象にならない可能性があります

1 出場にあたってのルール

- 1 本選に参加する俳優・スタッフは【テクリハ】【GP】【本番】の3日間すべて、必ず全員が参加すること。
- 2 テクリハ後の安全性に関わる演出の変更は不可（保険加入を必須とする場合がある）。
※やむを得ず変更する場合はゲネプロ前日までに全ての変更点を連絡すること。
- 3 ゲネプロ後の演出の変更は不可。
- 4 特別な演出をする場合は総合舞台監督に必ず相談すること。
（以下、一例）
 - ・次の団体の上演に支障が出る演出は禁止（スモーク、裸火、においの残るものなど）
 - ・水の使用は不可
 - ・上演中のバトンの昇降、（終演時以外での）緞帳の開閉は不可※スクリーン・ Horizont幕の昇降については応相談。
- 5 上演作品について、以下の場合にはできる限り早くに劇場へ報告すること。
 - ・一定時間の暗転を行う場合
 - ・実際の事件・事故・災害を想起させる内容のある場合
 - ・性描写、暴力描写、差別表現のある場合
 - ・その他視覚的・聴覚的に留意事項があると判断される場合※その他の注意事項を含め、「観劇時の注意／トリガーアラート」をロビー及びホームページで掲示することがあります。
- 6 終演後は現状復帰すること。
- 7 ゴミは各団体で持ち帰ること。
- 8 上演に際して必要な権利処理に関わる手続き（楽曲使用の著作権・著作隣接権の使用申請、原作使用の申請など）は基本的には各団体で行うこと。
※JASRAC についての申請は劇場が行います。使用する楽曲情報をまとめ、劇場へ送付してください。 **期日：5/6(水)**

2 本番の流れ



3 上演ルール

① スタンバイ（開演 45 分前～）

- ・ 指定時間まではホール内でのスタンバイは禁止（スタンバイ場所はテクニカルリハーサルで決定）

② 仕込み（開演 30 分前）

- ・ 総合舞台監督の仕込み開始の合図により開始する

③ 開場（開演 15 分前）

- ・ 開場中に舞台上で仕込む場合は、必ず引割り緞帳を閉める
- ・ 前説・BGM など、開場中の演出は可。ただし審査対象は上演時間内のみ（審査員は開演直前に着席）
- ・ 開場中の演出は、テクニカルリハーサルで総合舞台監督の要確認。内容によっては変更の可能性あり

④ 諸注意場内アナウンス（開演 5 分前）

- ・ 劇場が用意したアナウンス音源を各団体の音響担当者がスピーカーから流す

「本日は、第 16 回せんがわ劇場演劇コンクールにお越しいただき、誠にありがとうございます。ご来場のみなさまにご案内申し上げます。スマートフォン・時計のアラームなど、音の出る電子機器は、電源をお切りになるか、サイレントモードの設定をお願いいたします。会場内での許可のない撮影・録音は固くお断りいたします。客席内での飲食はご遠慮ください。上演中は、演出の都合により、非常灯・誘導灯を消灯いたします。地震や火災などの災害時には、非常灯・誘導灯を点灯し、係員が誘導いたしますので、ご着席のままお待ちください。それでは、第 16 回せんがわ劇場演劇コンクール第●ステージ【劇団名】【タイトル】、まもなく開演いたします。ロビーにおいでのお客様は、お早めにご着席ください」

※避難誘導灯、時計灯は、開演 5 分前に劇場舞台スタッフが消灯

⑤ 上演

- ・ 30 分以上 40 分以内の作品を上演する
- ・ タイムのスタートは「総合舞台監督キュー」、ストップは「緞帳の閉まりきり」
- ・ 開演より 40 分を超えた場合、審査員に通達し審査材料とする
- ・ 40 分を大きく超え、コンクール全体の進行に支障をきたすと総合舞台監督が判断した場合は、上演を途中で中止する可能性がある
- ・ 客席および通路の使用については相談必須（客席センターの階段通路の使用は不可）

⑥ 客出し

- ・ 劇場が用意した終演アナウンスの音源を各団体の担当者がスピーカーから流す
- ・ 客出し中の演出は不可。観客には速やかな退場を促す
- ・ 観客・関係者面会をホールやロビーで行うことは不可

⑦ 大道具・小道具

- ・ 備品リストにあるものに限り、劇場備品の使用可（参照：備品リスト）

- ・持ち込みの大道具と小道具はテクリハ後から劇場預け可
※場所はテクリハ時に決定（スペースの都合上、制限あり）
- ・持ち込みの大道具と小道具を劇場へ郵送する場合は、5月20日以降に到着するよう手配すること（時間は9:00～17:00を指定。団体名を記載すること）
- ・劇場預けスペースの大きさは説明会時に確認すること

4 仕込み・テクニカルのルール

① テクニカルスタッフの手配

- ・舞台監督、音響、照明等のスタッフは各団体で手配する
- ・舞台監督の兼任は不可
- ・スタッフを兼任する場合は、最終打ち合わせ前に報告・相談する

② ヘルメットの着用

- ・仕込みおよびバラシでは、作業する全員がヘルメット着用必須（労働安全衛生法）
- ・ヘルメットの劇場貸し出しは行わない。各人で準備すること

③ 高所作業 ※2m以上の場所で高所作業を行う場合、必ず以下のものを所持すること。

- ・フルハーネス型墜落静止用器具
- ・フルハーネス特別教育修了証（受講証明書）
※9尺以上の脚立を使用する場合が該当
※照明バトンは降下する（幕用のバトンは降下しない）

【4】 チケット取り扱い・広報

1 当日運営

- ・ 当日の運営は劇場スタッフが行います
- ・ 物販は不可
- ・ 遅れ客の対応は各団体の指示により劇場スタッフが行います（テクリハ時に確認）
※客席の状況により入場できない場合があります。

2 チケット券種

- 5 団体通しチケット 【発売日】 〈会員・応援〉 4/7(火) 〈一般〉 4/10(金)
 - ・ 会員 2,500 円
 - ・ 一般 3,500 円
 - ・ 応援チケット 5,000 円 〈御礼…購入者氏名の館内掲示〉
 - ・ これからも応援チケット 10,000 円 〈御礼…購入者氏名の館内掲示、第 17 回のグランプリ・オーディエンス賞受賞公演への招待〉
- 1 団体チケット 【発売日】 4/28(火)
 - ・ 1,000 円

※コンクール本番では、団体専用の関係者席を 2 席用意します

※関係者席を利用できるのはコンクール本番の関係者のみです

※関係者席が不要の場合は【5/21 まで】に申し出ること

※3 名以上が本番を観劇したい場合は、一般の観客と同様にチケットを要購入

3 チケット取り扱い

「チケット CHOFU」 ※団体受付による販売はなし

- ・ 事前入金、事前発券制、全席指定席
- ・ 当日精算不可
- ・ 未就学児・小学生未満入場不可

4 記録撮影

- ・ 各団体、ゲネプロ時にスチール撮影、本番時に映像撮影を行います
※撮影後の記録物はせんがわ劇場の広報に使用するほか、各団体に配布
※各団体で撮影する場合は、ゲネプロ時に行うこと
※コンクール後、記録物を使用する場合は劇場への連絡がのぞましい

※コンクール終了後に出場作のアーカイブ配信（期間限定・無料）の実施を予定

5 ライブ配信

- ・表彰式、講評映像を財団 YouTube アカウントから無料ライブ配信します

6 広報

- ・劇場 HP、X、Instagram で随時情報公開していきます
※相互フォロー、情報拡散にご協力ください
- ・コンクール当日パンフレットにチラシ折り込み可能です（500 部を予定）
※テクリハ期間中に各自で行っていただきます

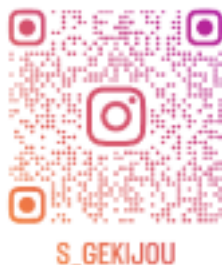
せんがわ劇場 X

@SengawaG



せんがわ劇場 Instagram

s_gekijou



【5】 表彰式・講評 ※出場団体参加必須

【内容】

各賞の発表と、全審査員が各出場団体について講評を行う。

※YouTube ライブ配信あり

【開催日時】

2026 年 5 月 24 日(日)15:30～17:00 せんがわ劇場ホール

【参加者】

コンクール出場団体、専門審査員、一般審査員

【6】アフターディスカッション ※出場団体参加必須

【目標】

せんがわ劇場演劇コンクールにおける演劇作品の面白さと理解を共有し、演劇全体に対する一層の興味を広げ、認識を深める。

さまざまな感想、意見を交換して、異なる立場、感覚、感性を知るとともに、上演作品や演劇への理解・認識を深める意見交換の場に発展させていく。

【内容】

コンクール出場団体、専門審査員、一般審査員が参加し、各団体の作品についてディスカッションを行う。団体担当スタッフがファシリテートする。

【開催日時】

2026 年 5 月 24 日(日) 17:30～19:00 せんがわ劇場内各所

【参加者】

専門審査員：各団体の部屋へ 1 名ずつ

一般審査員：各団体の部屋へ約 3 名ずつ

コンクール出場団体：各部屋へ 1 団体ずつ。各団体 1 名以上参加すること

【全体の流れ（予定）】

授賞式終了時に、アフターディスカッションの概要を司会から説明。今後の動きを共有する。

17:30 第一部開始

部屋ごとに進行。40 分間自由な意見交換の場とする

18:10 第一部終了、休憩、移動

18:20 第二部開始

部屋ごとに進行。40 分間自由な意見交換の場とする

19:00 第二部終了

19:10 全参加者、ふれあいの家（3 階）へ集合

〈フィナーレ〉

せんがわ劇場館長あいさつ

各団体のファシリテーターより簡単な振り返り

コンクール企画監修あいさつ

せんがわ劇場芸術監督あいさつ

19:30 全体終了（お茶会は任意参加）

【7】 ハラスメント防止・その他

1 ハラスメント防止

主催者を含めた、演劇コンクールのすべての参加者が、安全かつ公平に過ごすために、ハラスメント防止について順守すべき事項を定める。

コンクール出場団体の代表者は、別紙「第 16 回せんがわ劇場演劇コンクール参加におけるハラスメント防止についての確認事項」に署名・提出すること。

2 その他

発熱を伴う体調不良者が出た場合は、速やかに医療機関で診察を受け、劇場に報告すること。感染症（新型コロナ、インフルエンザなど）と診断され、感染拡大のおそれのある期間にテクリハ等の期間が該当する場合は、感染者は参加不可とする（テクリハまでのスタッフ・キャストの変更は認める）。
上演にクレジットされているスタッフ・キャストは、テクリハ-ゲネプロ-上演すべてに通して参加すること。上記が達せられない場合、団体の出場を不可とすることがある。

【8】 連絡・情報共有について

1 連絡

- ① Slack ※各団体 3 名まで参加登録可能。資料「Slack について」参照
- ② メール ※件名に「団体名」を入れてください。

・テクニカル面含む、コンクールの運営に関わること

▶ せんがわ劇場演劇コンクール運営実行委員 sengawatheater@gmail.com

・広報、チケットに関わること

▶ せんがわ劇場制作係 sgekijou@chofu-culture-community.org

- ③ 電話 ※緊急時のみ

せんがわ劇場電話番号（9 時～18 時） **03-3300-0611**

※テクニカルの質問は舞台技術スタッフへ確認する必要があるため、時間を要する場合があります。

※質問と回答は、条件を平等に保つため、第 16 回コンクールへ出場する全ての団体へ共有します。

2 資料の格納先

・資料のデータは、
【出場団体用】第16回演コンフォルダ（Google ドライブ）
に格納します。各団体で共有してください。



〒182-0002 東京都調布市仙川町 1-21-5

sgekijou@chofu-culture-community.org

受付時間：9:00～18:00

休館日：毎月第3月曜日（祝日の場合翌平日）

ホームページ：<https://www.chofu-culture-community.org/>